

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第3回公民館運営審議会
開 催 日 時	平成27年2月10日(火)午後2時~3時55分
開 催 場 所	所沢市役所低層棟3階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	中村龍太郎、北田有司、藤野邦夫、内野幸雄、内田喜久男、越阪部芳加、三原由紀子、本橋賢一、梁瀬正明、山崎修央、小笠原幹郎、佐藤一子、倉持伸江
欠 席 者 の 氏 名	山本直子、北田耕一
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	教育総務部長・平野澄彦、教育総務部次長・美甘寿規、中央公民館長・神谷明、小手指公民館長・島崎敬一、富岡公民館長・新井佳子、吾妻公民館長・丸山昌行、柳瀬公民館長・鈴木明彦、新所沢公民館長・倉富恵理子、三ヶ島公民館長・豊泉清喜、新所沢東公民館長・木村立彦、並木公民館長・吉田上
議 題	(1) 提言(素案)について  (2) その他
会 議 資 料	
担 当 部 課 名	教育総務部社会教育課 浅野浩一課長、原初恵主査、粕谷紀夫主査 電話 04(2998)9242

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>教育総務部長</p> <p>委員長</p>	<p>1 開会</p> <p>社会教育課長の司会により開会した。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>お忙しい中をお集まりくださいます、誠にありがとうございます。日頃より、委員の皆様には、貴重なご意見・ご指導を賜りまして、感謝申し上げます。</p> <p>本日は、これまで審議していただきました「新たに公民館活動に関わる人を増やす取り組み」などをまとめた提言（素案）について、委員の皆様の忌憚のないご審議をお願いいたします。</p> <p>昨年 1 1 月に開催された第 2 回公民館運営審議会では、「新たに公民館活動に関わる人を増やす取り組み」について、「つどう」をキーワードとして、皆様からご意見をいただきました。</p> <p>本日は、これらをまとめた提言（素案）に基づきご審議いただきたいと思います。そして、本日の議論をもとに提言にまとめ上げていきますので、本日はよろしくをお願いいたします。</p> <p>（事務局が配付資料を確認した）</p>
<p>委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p>	<p>3 議事</p> <p>（1）提言（素案）について</p> <p>本日の議事は「提言（素案）について」となっています。</p> <p>前回の会議では、「つどう」をキーワードに、皆さんからご意見をいただきました。これまでの議論をもとに、提言（素案）としてまとめてあります。</p> <p>本日は、この提言（素案）の文章を修正したり、加筆したりすることで、公民館への「提言」としてまとめたいと思います。今期最後の会議となりますので、提言の完成に向けて皆さんよろしくお願ひします。</p> <p>最初に「提言（素案）について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>ただ今、委員長のお話のとおり、本日はこの提言（素案）の文章に肉付けしたり、整理したりしていただき、最終的に提言に仕上げるための議論をお願いいたします。</p> <p>事務局より、「提言（素案）について」説明いただきました。皆様のご意見をお願いします。</p> <p>提言（素案）に書いてある順番に議論していただきます。まずは「はじめに」</p>

<p>課長</p>	<p>の部分でご意見ありますか。</p> <p>公民館の歴史が書かれている「はじめに」の部分について補足いたします。</p> <p>「はじめに」の中で、公民館が設立された当時の文部省の社会教育課長が書いた「公民館の建設」という文章を引用していますが、この文章は、当時の公民館のあり方を示しています。</p> <p>この文章から分かるように、「郷土をつくる」ことは、当時の公民館の使命であったことが分かります。このことは、所沢市が進めているまちづくりセンターを中心としたまちづくりの中にあっても、公民館が「郷土づくり」に大事な役割を担っているということかと思われます。</p>
<p>委員</p>	<p>公民館設立時の国の文章が引用されているとのことであれば、出典や書かれた年をはっきりさせるともっと文章に説得力が出ると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見ありますか。無いようですので、次に「１．日常的な人材の掘り起こし」についてご意見をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>公民館についての情報が、小・中学校や保育園・幼稚園に届いてないように思います。現在、新所沢東まちづくり協議会の設立に向けて、話し合いをしていますが、公民館を中心に縦のつながりだけでなく、横のつながりも築いていこうとしています。たとえば、横のつながりがないと、役員のみが知っていて、役員以外は知らないということになります。</p> <p>小・中学校や保育園・幼稚園を通して、公民館の情報を各家庭に提供できれば、今まで公民館の情報を得られなかったお母さん方にも情報を伝えることができると思います。</p>
<p>課長</p>	<p>提言（素案）の大きな柱の一つとして、「１．日常的な人材の掘り起こし」としています。</p> <p>しかし、この大きな柱の中で、人材の掘り起こしだけでなく、「情報の発信」についての項目も入っています。</p> <p>このため、「情報発信」の項目を「１．日常的な人材の掘り起こし」に入れたままでいいのか、分けるのがいいのか、あるいはもっと整理した方がいいのか、皆様のご意見をお願いします。</p>
<p>委員 副委員長</p>	<p>「情報発信」に絞った方がいいと思います。</p> <p>まず公民館利用の中で、実情として何が問題になっているのでしょうか。</p> <p>所沢市では、公民館をサークル・団体で利用する人は多いけれども、事業企画委員などの公民館運営の役員になったり地域交流活動に広がらず、そのサークル・団体活動が「自己完結」していることが問題であるのか。それとも新たな公民館の参加者を掘り起こしていくことがより大きなテーマであるか、そのどちらであるかで提案が変わってくると思います。</p> <p>「公民館だより」の書き手を広げたり、地域の幼稚園・学校の情報を入れた</p>

	<p>り、サークルの活動紹介をしたり、新たな企画の参加者を募集したり、有益な情報として認知されてくると、新たな参加者が得られると思います。</p> <p>また、大きな事業を開催するときに、中心になってくれる企画運営委員などの人がいないという悩みがあれば、そこを「手当て」するボランティア養成講座を開催することで、学習面から地域の人材育成をバックアップしていきますと「公民館だより」で言及してもいいと思います。</p> <p>公民館の実情をもう少しお話いただき、公民館の何が問題なのかを確認できればと思います。</p> <p>これまでの議論では、サークル活動そのものが「自己完結」しているところに問題があるとの指摘がありました。たとえば、サークル会員の高齢化により、サークル運営ができなくなったり、公民館運営の役員などになっていただけなかったり、サークル活動以外に地域課題にサークルが向き合っていないなど、こうしたご意見をたくさんいただきました。</p> <p>また、公民館でリーダーの養成というよりも、一人ひとりが地域課題を考えてそれぞれが変容していけるように学習機会を広げていくことや、「日常的な人材の掘り起こし」の話が、これまでの中心的な議論だったと思います。</p>
課長	<p>具体的に「日常的な人材の掘り起こし」を行っているという館がありましたら、お願いします。</p>
委員長 館長	<p>新所沢東公民館には、約150のサークル・団体があります。しかしながら、文化祭に関わらないサークル・団体があるため、文化祭の委員長・副委員長を5年先まで決めています。良いかどうか分かりませんが、参加意識が高まる方法であると感じています。</p> <p>また、小学校2年生の社会科見学に関してですが、これまで2～3週間前に小学校の先生から電話があり、公民館に来て見て帰るだけでした。</p> <p>それを2年前から社会科見学の2ヶ月前に、小学校からの依頼を受けることにしました。そして、社会科見学の当日に活動するサークルに、事前をお願いして見学プランを考えてもらい、子どもたちに公民館での活動について説明してもらいました。</p> <p>その結果、子どもたちも喜んでもらいましたし、そのサークルも高齢者が多いこともあり、子どもたちとのふれあいができて喜んでいました。</p> <p>その方法に変える前は、子どもたちからの感謝の文章は公民館に送られてきましたが、その方法を変えてサークルの方たちに送られるようになり、内容もとても喜んでいてというものでした。</p> <p>このことから単に社会科見学で公民館を見学すればいいのではなく、事前に公民館・学校・サークルが準備をすることで、サークルの方たちと子どもたちとの関わり、世代間の関わり、サークルと地域の関わりが生まれることにつな</p>

委員	<p>がるのだと感じました。</p> <p>12の町会で構成されている中央地区公民館連絡協議会では、年間行事を12館に割り振って担当を決めています。たとえば、会報紙「野老」の編集、視察研修、文化講演会ではそれぞれ4館で担当を分担しています。また、文化発表会では全館が協力しています。その他、新年会、総会については、6年先まで担当館を割り振っています。</p>
委員長 館長	<p>公民館長からご意見はありますか。</p> <p>新所沢公民館は利用者が多いのですが、サークル・団体活動が「自己完結」してしまっていると感じます。新所沢公民館は地理的利便性が良いため、地区以外からの利用が多くあります。サークル・団体の登録名簿を見ましても、構成要件である市内在住・在勤・在学が半数以上という基準をやっと満たしたり、地区住民がほとんどいなかったり、そうしたサークルが多くあります。</p> <p>本来公民館は地域住民の活動の場であるはずですが、利用しやすいからその公民館を利用しているという状況で、地域に密着していないといった問題があると考えます。</p>
副委員長	<p>地理的利便性が良いためにその公民館を利用するという話にあるように、公民館を「楽な利用」で終わらせない良い事例が、先ほどの社会科見学の話であると思います。</p> <p>子どもたちがサークル活動を見学したときに、きちんと説明しようとすることで、世代間のふれあいになったり、地域の子どもについて改めて認識を持ったり、公民館がそういうきっかけを意識して、人が育つ場づくりを仕掛けていくという視点が必要です。そうでないと、公民館を「楽な利用」できる施設で終わらせてしまいます。それでは公民館の本来のあり方からすれば、もったいないことです。</p> <p>ただ、サークルを育てることを重視した時代もあったし、今も公民館利用の需要が高いことは良いことですが、これからは同時に他の世代とふれあったり、何か地域について知るきっかけを持てたり、サークル活動以外で面白いと思って参加してもらえる場づくりを公民館が意識的につくっていくことができたらいいと思います。</p>
委員長	<p>先日の新聞に書いてあったことですが、さいたま市では生涯学習情報システムを刷新したそうです。これは、事前に利用登録すれば講座の申込みをインターネットでできます。また団体登録するとサークル情報を発信できる機能があったり、学習成果や能力を活かして講師として活動できる方の情報を公開できたり、とても良いシステムだと思いました。</p>
委員	<p>2月5日に入間地区公民館研究集会に参加しました。この中で、災害ボランティアを募集すると、何も言わずに参加してくれる人が必ずいる、つまり、目</p>

<p>委員長</p>	<p>的がはっきりしていればやってくれる人がいる、という話がありました。公民館職員が積極的にコーディネート役を果たしてくれるといいと思いました。</p> <p>研究集会は、小平市中央公民館の方が公民館職員の役割というテーマで、「みんなで作る音楽祭」という事業を発表してくれました。</p> <p>この事業で、障害者ボランティア、手話ボランティアなど障害者支援活動をする方に声を掛けた、こういう方に声をかければ人が集まるというコーディネートのポイントの話がありました。</p> <p>コーディネートや人材の掘り起こしについて、職員の役割がとても重要であると、この研修集会に参加して改めて感じました。</p> <p>他にご意見ありませんか。無いようですので、次に「2.地域の財産を活用した取り組み」についてご意見をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>公民館は小・中学校と連携しないといけないと思いますが、学校は外部の人が学校行事に携わることに、難色を示しがちです。そうしたことからPTAが公民館にお願いしたり、公民館がPTAにお願いしたりして、学校行事に携わるのがいいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>私の地区では、学校と地域の連絡協議会があります。そこでいろいろな問題を話し合っています。私は10年ほど評議員を務めましたが、やはり学校と地域が上手くいくためには協議会があるといいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>山口まちづくり推進協議会の中では、青少年育成部会が「地域の財産を活用した取り組み」を担える部会であると思います。この部会は、小・中学校長、PTA会長と青少年に関わる団体で構成されています。総会で年間計画を決定するため、後から新事業を追加することは難しいところです。</p> <p>なお、山口まちづくり推進協議会の実情として、他の部会との横のつながりがなく、私が所属している部会以外のことはよく分かりません。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど新所沢公民館長から他の地区からの利用者が多いという話がありましたが、新所沢地区内の方も、もともと地区以外から移住されてきてそろそろ定着する頃で、将来はこの地区がふるさとになっていくのか、と意識している方が多くいます。</p> <p>このことはチャンスですが、守っていく、引き継いでいくといった古い財産は見当たらない状況です。</p> <p>新しい住民の方は、地域をゆっくり見て歩くという時間がない人が多いと思います。そこに着目した体育事業であるウォークラリーが3月にあります。この事業の広報は、主に行政回覧・掲示板を使いますが、子どもたちを呼び込みたいのであれば、学校に協力してもらうのがいいと思います。</p> <p>このことで、学校がウォークラリーの会議に参加するものではなくとも、子どもたちが参加してもらおう機会にしてもらえればいいと思います。そうした取</p>

副委員長	<p>り組みも「地域の財産を活用した取り組み」の一つであると思います。</p> <p>自治会、サークルにチラシを配布しても受取る人は限られます。世代間のふれあいを考えた場合にも、学校に協力してもらうことは良い方法だと思います。</p> <p>「人そのものが財産」であると思いますので、顔をつなげていく何か良い手段を見つけていくことが必要です。</p> <p>「人も財産」という視点は重要です。以前に千葉県野田市のNPOが運営している寺子屋の話をしました。ここでは毎月20～30人が集まる寺子屋講座を開催しています。</p> <p>たとえば、長年手づくりの豆腐を作っている職人さんが講師になって、代々どんな思いで豆腐を作っているか、住民の参加者が困って聞いています</p> <p>野田市は醤油の街であり、伝統的なものが多くあります。しかし、街の伝統を一般化しないで、あの家・この家・この仕事といったその方々が培ってきたものを皆で共有しようというものです。これは公民館で行われる相互学習の典型であると思います。</p> <p>「人そのものが財産」という視点は大事であるし、また行事や伝統的なものだけではなく、皆で地域の魅力を一緒に育てようという姿勢が、アート、自然、スポーツ、先ほどの話にあったウォークラリーも含めて財産であると思います。住んでいて嬉しい、自分はいいい地域に住んでいると、そう思える根拠をお互いに見つけいきましょうという話であると思います。そういう意味で、人も財産、つながりも財産、財産は古いもの、良いものだけでない、提言で強調したらいいと思います。</p>
委員	<p>地区の文化祭ですが、昔の遊び、ベーゴマ、めんこ、コマ回しなど素朴なゲームを取り入れて、子どもたちに教える形をとれば、高齢者は孫の世代に教えることは楽しいでしょうし、子どもたちも新しいことを高齢者から教わることは楽しいと思います。</p> <p>高校の文化祭に行くと、クラブ活動とは関係のない、やきそばなどの模擬店を出していて、バラエティに富んでいるため飽きません。公民館の文化祭で、所沢のB級グルメや団子、うどんを販売してもいいでしょうし、今年度は実験的におにぎりの販売を行うなどがあり良かったのですが、子どもが遊べるものがあればもっと良かったと思います。</p>
委員	<p>私の地区では、初めてウォークラリーを開催します。富岡地区には三富の開拓地があり、ウォークラリーでそこを歩くことになっています。300人の定員で募集したところ、これまでに多くの申込みがあると聞いています。</p> <p>事業がマンネリ化してきたり、文化祭は展示物が減っていますが、新しく移り住んできた住民が多いので、ウォークラリーを通して自分の住む地区を知る</p>

館長	<p>ことは大変有益だと思います。</p> <p>富岡地区ウォークラリーは、富岡地域づくり協議会の設立記念事業として開催します。基本的には、富岡地区に在住の方を対象としています。広報は「富岡まちづくりセンターだより」を自治会に回覧しまして周知を図りました。</p>
委員	<p>先日、6地区のまちづくり推進協議会の発表会がありました。富岡地区ではウォークラリー、松井地区では淵の森の清掃活動の発表がありました。三ヶ島地区では交通事故が多いので、交通安全教室を開催したところ多くの高齢者の参加があったことを発表しました。</p>
課長	<p>交通事故は「負の財産」ではありますが、交通安全教室を通じて、それを改善するだけでなく、新たな地域のつながりを生むものであると感じました。</p> <p>欠席された委員からご意見をいただいています。先ほど「人も財産」という話がありましたが、たとえば、中学校の卒業生の中に、宝塚で活躍した生徒がいて、学校訪問してくれたとか、後援会の方がバルーンアート世界一になった方を見つけてきてくれたりと地域のことを知っているので、「学校の卒業生やPTA、後援会も地域の財産」という視点も大事ではないか、とご意見をいただいています。</p>
委員長	<p>他にご意見はありますか。無いようですので、次に「3. 従来の利用者層と異なる人の参加のために」について、ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>毎年、各地区の公民館では、成人のつどいに携わっているかと思います。今年娘が成人になり、同級生が成人のつどいの実行委員を務めてくれました。その同級生は、新成人のために大勢の地域の大人が携わってくれていたことを知ったと、大変感謝していました。</p> <p>こうしたことから、若い世代に伝えるためには、地域行事にたくさんの大人が関わっていることを見せておくことが大切だと思います。</p>
委員	<p>その同級生に今すぐボランティアを勧めることはありませんが、若い世代にはいっぱい勉強や経験を積んでもらって、社会に出たときに成人のつどいで経験したことが心に響いてくれるといいと思います。</p> <p>私の地区の成人のつどいでは、2部の「つどい」で、新成人が計画から運営まですべて行いました。このことで新成人が山口まちづくり推進協議会に関心を持ってもらえたと思っています。</p>
副委員長	<p>若い世代に何かを担ってもらうには、具体的にどこまでできるかを示して、依頼できればいいと、成人のつどいはいいチャンスだと思っています。</p> <p>最近、選挙権を18歳に引き下げるという話が出ています。18歳が社会とつながって、判断して責任ある投票意識を育めるかについては、地域の責任であると思います。</p> <p>18歳の大学1年をターゲットとして、どう地域で巻き込んでいくか、委員</p>

委員	<p>の皆様はどうお考えですか。</p> <p>息子が20歳になったので、先日一緒に投票に行ってきました。息子は投票所の場所は分かっていたのですが、投票のやり方が分かりませんでした。また誰に投票したらいいのかわからない状況でした。</p>
副委員長	<p>18歳という若い世代は、インターネット世代であるので、それに飛びついて調べて、行動すると思います。</p> <p>成人のつどいの一段階前に、若者が地域で集まる機会があると理想的です。そうすれば20歳になるまでに、社会に関心を持つきっかけができると思います。</p> <p>今は20歳になるまでは、社会に無関心でいられますし、親にも依存してられるという状況なので、今後は18歳に社会の一員であることを意識してもらうことが、大きな課題であると思います。</p>
委員	<p>世界的にみると、20歳で成人というのは2ヶ国くらいしかありません。今の環境では酷かもしれないけれど、18歳から政治に興味を持ってもらうのはいいこと、慣れもあると思います。</p>
副委員長	<p>子どもと地域の現代的な問題として、青少年育成会や子ども会育成会の衰退が言われています。小学校4年生くらいまでは、親と一緒に子どもが地域に出てきますが、それ以降は塾と受験勉強に明け暮れて10歳～18歳の若者は、地域の一員ではありますが、一番地域にいないと自身で思っています。それがいきなり18歳になったからと、選挙権を持って社会に参加するのは難しいことです。</p>
委員	<p>大人の側も新たな意識を持って、親と子ども、学校と公民館が連携して変えていかないと、新しい時代には対応しきれないと思います。</p> <p>以前、明るい選挙推進協議会で全体研修を行ったときに、大学生がオブザーバーとして来ていて、出前講座をやってほしいと言われましたし、実際2年前に行っています。また委員から、小学校で選挙について出前授業を行ったかどうかとの意見が出ています。</p>
委員長	<p>他にご意見ありますか。無いようですので、「結びに」についてご意見をお願いします。</p>
委員	<p>提言(素案)の全体を通していえることは、これまでの審議会の発言を丁寧に盛り込んでもらえたと思います。ただし、社会教育は機動力が必要な部署です。これだけの提言内容を実施しようとするのであれば、かなりの業務量になります。</p> <p>提言(素案)の中に「公民館自体も自己完結しているのではないか」という一節がありますが、公民館は「自己完結」したくてしているのではないと思います。これ以上手を出せない業務量の中で事業を行っていると思います。提言</p>

<p>委員</p>	<p>(素案)の実効性を担保するためにも、再配置による職員の手当を是非明記してもらいたいと思います。</p>
<p>課長</p>	<p>平日に活動しているサークルと、土・日曜日に活動しているサークルの違いは何でしょうか。</p> <p>活動曜日の違いは、サークルメンバーの生活スタイルによるものだと思います。たとえば、平日に働いているのであれば、土・日曜日の活動になるとか、土・日曜日は家族サービスの日にしているのであれば、平日夜間の活動になるとか、生活スタイルによって活動曜日が違って来るかと思います。</p> <p>状況としては、公民館利用者が高齢化しているという現状がありますので、土・日曜日の利用よりも、平日の利用の方が多いと思います。ただし、ホールがある公民館については、発表会で土・日曜日の利用が多いということもあるかもしれません。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>倉持先生、これまでの議論を聞いていかがでしょうか。</p> <p>ちょうど今、所沢市の社会教育課の事業などに、私の大学の学生を実習生として受け入れてもらっています。その中で、社会教育としては当たり前のことなのかもしれませんが、いろいろな事業の実行委員会で市民が主体となって、企画・運営している姿にその学生は感動していました。そして、その裏では、職員が支えていたことも見てきたと話してくれました。</p> <p>そういう意味では、いろいろな世代で自分たちの活動や他の人たちの活動を支えていく素地があると、今までの話と学生の話を重ね合せながら聞いていました。一方で、そういう人たちが活動を続けていくためには、世代をつなげていったり、新しいメンバーに入ってもらったりして、新たな人たちを取り込んでいかなくてなりません。</p> <p>そして、人材を掘り起こせたら、人材を活用することになっていくのだろうと話聞いていて思いました。</p> <p>今回の提言(素案)は、地域によって具体的な展開が変わってくるという内容になると思います。人材を掘り起こすことや見つけることなどは、そのときどきの状況の中で行っていくものです。そして、そういう状況に対応しなくてはならない公民館職員に求められる役割は大きいと思います。また地域のリーダー層が、次の世代に役割をつないでいくことも大事なことだと思います。</p>
<p>委員長 副委員長</p>	<p>佐藤先生、議論全体を通していかがでしょうか。</p> <p>これまで次のご意見が出ていたと思います。</p> <p>「1. 日常的な人材の掘り起こし」を振り返りますと、サークルが自己完結しているのを、いかにつながっていくかという関心に向けていくこと。そして、つなげる役割を果たせるコーディネーター的な方やボランティア的な方などをどう見つけていくかが話し合われました。継続的に役割を果たしてもらいた</p>

め、文化祭の役員の決め方を工夫している話や、情報の発信に工夫をされている話、まちづくり協議会との関係について指摘がありました。

横のつながりをまちづくり協議会は志向しているので、そこと連携しながら公民館が独自に問題提示していくときに、適切なコーディネートを果たせるか、職員の専門性を協調しておく必要があるという話し合いだったと思います。

「2.地域の財産を活用した取り組み」の中で、是非付け加えてほしいところが2つあります。1つ目は「人そのものが重要な財産」というところ、2つ目は「負の財産」という視点です。

単に自然や伝統ということではなく、住民と一緒に地域の魅力をつくっていく例として、ウォークラリーがありました。それがマンネリ化する例もありましたが、新たに取り入れることで、旧住民と新住民がいかに関わるか・歴史を共有・継承していくか、このことを重要な点として注目していきたいと思います。是非、そういう点も提言に書き込んでいってはどうかと思います。

また、学校やPTAとの連携は、簡単ではありませんが大事なことであるとの話がありました。公民館の文化祭に子どもたちが参加できる昔遊びを取り入れるといった工夫があれば、お年寄りが伝えていく行為と子どもたちがお年寄りとふれあう行為の両方が実現できるのではという話がありました。そうすればマンネリ化せずに新たな刺激になると思います。

「3.従来の利用者層と異なる人の参加のために」を振り返りますと、成人のつどいの開催の仕方ひとつで、新成人が地域に関わるいい経験の出発点になったという話がありました。

公民館と小学校とは、割と連携できていると思います。そして、成人のつどいはこれまで社会教育の伝統で行っていますが、その中間の中・高校生に対して、社会的な関わりの必要性が高まっているという問題提起に対して、選挙の出前授業の話がありました。

また直接的な政治学習ということではなく、中・高校生が、社会を知り、社会と関わり、その中で大人になっていくとはどういうことなのか、ということをおもっているのか、そこで公民館に何ができるかということではないでしょうか。

今は就職活動・結婚活動を親が行っているという、以前では考えられない時代になっています。子どもを育てる親ではなく、子どもを自立させる親でなければいけません。子どもではなく青年を育てる親の関わり方を公民館で取り上げることは、現代的なテーマであると思います。

「成人のつどい」をキーワードにしながら学生、若者など、若い人たちへの働きかけを考えていきたいと思いますという話もあったと思います。

<p>委員長</p>	<p>最後に、総括的な提案をそれぞれの地域で具体的にどう取り組むかというときに、多様性と工夫という話があり、そのためには、職員が意欲的に取り組めるように、社会教育に関心のある職員の再配置の話がありました。</p> <p>そうした公民館の体制を含めて実現していくことが、大きな意味でのまちづくりにつながっていくと、結びとしてまとめられたと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日いただいたご意見を踏まえまして、公民館運営審議会からの提言としてまとめたいと思います。</p> <p>最終的なまとめについては、私と佐藤副委員長に一任いただくことでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 委員長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、提言がまとまりましたら、事務局から委員の皆様それぞれを送っていただきまして、最終確認をしていただきます。</p> <p>では、他になければ、これで議事は終了いたします。</p> <p>議事の「その他」はありますか。</p>
<p>事務局 委員長</p>	<p>特にございません。</p> <p>それでは、本日の議題は、これで終了としますが、まだ委員としての任期は4ヶ月ありますし、任期まで研修などの機会もあるようですので、積極的にご出席いただき、各地区の公民館活動に生かしてもらえる活動を続けていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、次に報告事項をお願いします。</p> <p>研修についてですが、審議の中で、12月25日の「社会教育関係職員研修会」は小笠原委員から、2月5日の「人間地区公民館研究集会」は越阪部委員からお話がありました。また、2月20日の生涯学習フォーラムにも数人の委員さんにご参加いただく予定です。それぞれ地域で研修内容を生かしていただければと思います。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>それでは、これで報告事項は終了とします。</p> <p>議事と報告事項は終わりましたので、進行を事務局に戻します。</p> <p>委員長、議事進行ありがとうございました。</p>
	<p>(事務連絡)</p> <p>5 閉会</p> <p>以上をもちまして、第3回公民館運営協議会を終了とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>